

港区議会議員

自由民主党

うかい雅彦通信

区政報告

発行：うかい雅彦事務所
〒108-0074
東京都港区高輪1-26-18-402
Tel&Fax:03-3442-7232
E-mail:masahiko33@nifty.com
http://www.minato-jimin.com

ごあいさつ

段々と暖かさが増してまいりましたが、お変わりございませんでしょうか。お陰様で、議席を頂戴しましてから、間もなく二年の折り返しに差しかがろうとしております。あつという間に過ぎ去った感がありますが、振り返ると色々なことが大変凝縮された二年間であったと思っております。今回、議席を頂戴して一年半の私が、平成20年第三回定例会において、自民党議員団の代表質問をさせていただきます

した。はりきって武井区長並びに高橋教育長に質問・提案をさせて頂いた次第であります。その質問・答弁の内容を抜粋して掲載させて頂きました。

任期満了までの残りの二年間、おそらくあつという間に過ぎ去ってしまうことと思いますが、この二年間にどれだけお役に立つことができるのか。必死になって、港区のため、何より区民の皆様のために、頑張ってまいります。

議会運営委員会 委員

総務常任委員会 委員

まちづくり子育て等対策特別委員会 副委員長 うかい 雅彦

会派内今期当選組のトップバッターとして自民党議員団の代表質問をさせて頂きました！

平成20年第3回定例会 代表質問

- 現在の経済状況を考えると、港区も今までのような潤沢な財政状況とは考えられない。そのような状況で、田町駅東口北地区を含めた施設整備について、計画段階から将来負担を小さくする努力や工夫が必要と思うが、区長はどのように取組んでいかれるお考えか。
(答) 民間活力の導入などの整備手法の検討を行い、次の施設の基本構想・基本計画段階では、施設規模、配置、管理方法等を確認し、全体としてむだのない合理的な計画になるよう努めてまいります。
- 多数の大使館を抱え、外国人納税者のたくさん住む港区として、区内のインターナショナルスクールへのフォローや、今後の外国人居住者の動向をどのように捉え、対応していくおつもりか。
(答) 外国人へのアンケート調査、外国人インターンによるインタビュー調査、区政モニター会議などにより、国際化推進プランの策定のなかで幅広く検討してまいります。
- 中小企業の融資の状況については、相変わらずハードルが高い状況である。ネックとして挙げられるのが、条件として税金の滞納がないことがあるが、厳しい状況下で何とかできないものか。
(答) 財務状況の改善の提案、納税方法の助言、政府系金融機関の融資制度の紹介などを行い、必要な融資が行われるよう経営改善を支援していきます。
- 環境に配慮した発明は、循環型社会を築くうえでも大切であるが、低炭素化社会の実現に向けた、中小企業の新技術・新製品の開発に対する助成を区としても考えるべきではないか。
(答) 環境に配慮した新技術、製品の開発等についても、産学連携促進事業による助成など、支援が一層活用されるよう努めてまいります。
- 中小企業活性化策として、インターネットを通して区内の5M(名所・名産・名店・名品・名物)などの情報を全国に発信し、観光客の誘致や物品のネット販売などを考えていくべきと思うが如何か。
(答) MINATOアラカルトを利用し、区内中小企業の活性化に努めてまいります。
- スポーツ・文化行政の所管については、教育委員会が行っているが、よりスポーツを区民の身近で活発なものとするために、その所管を区長部局に移管すべきと思うが如何か。
(答) 港区にふさわしいスポーツ・文化行政の執行体制のあり方について、検討してまいります。
- 学校希望選択制については、希望校については未だに狭き門となっている。学校選択希望制をとられるのであれば、もう少し教室を増やすなど、その受入れ態勢を整えるべきではないか。
(答) 現行制度のもとで意欲と希望を持って学校を選択された子どもや保護者の期待に十分こたえられるよう、教育現場の整備に努めてまいります。
- 高輪支所、高輪一丁目都営住宅、高松中学など、あの一帯は元々高松宮邸の敷地であり、その敷地を区民のために提供して頂いたわけだが、その宮妃喜久子様が残された高松宮妃癌研究基金について、区としてそのPRをもっとすべきではないか。
(答) この癌研究基金は、すぐれた癌研究に贈られる学術賞や研究助成金、国際シンポジウム等に活用され、国内外から高い評価を受けております。区は、この癌研究基金が、引き続き癌研究の進歩、発展に貢献し、多くの方々の癌の治療に役立つよう、機会をとらえて周知してまいります。
- 港にぎわい公園づくり基本方針の高輪地区の整備方針を考えるうえで、一定規模の公園は高輪公園しかなく、高輪1丁目の宮内庁宿舎1号棟跡地をぜひ取得し、高輪1丁目児童遊園と一体の公園として整備していくべきと思うが、区としての考えは如何か。
(答) 取得後の公園整備につきましては、安全・安心でだれもが使いやすい公園となるよう、区民参画によるワークショップ方式などにより、区民の皆さんのご意見を聞きながら進めてまいります。
- 今後の防災対策については、避難所における実働部隊の確保が必要であると思われるが如何か。
(答) 地域防災協議会とともに、地域で活動している団体等へ機会をとらえて、避難所運営の実働部隊として参加を働きかけ、避難所の運営訓練を実施してまいります。
- 区民が町会や自治会等の活動に積極的に参加し、防災活動につながる地域づくりをすべきと思うが如何か。
(答) 町会や自治会等の活動により多くの方が参加できるよう、町会・自治会への加入促進の働きかけをはじめ、地域活動の紹介などの情報提供や、区民参画組織による防災フォーラムの開催などの支援を行っておりますが、今後も引き続き、防災活動につながる地域づくりに努めてまいります。

PROFILE

- 昭和33年7月12日、港区高輪生まれ。港区立高輪台小学校、同高松中、私立成城高校、専修大学経済学部卒業(体育会ゴルフ部所属)、株式会社明治屋入社。家業を継ぐ為退社、二本榎通りで大榎屋酒店を家族で経営(平成17年まで)。
- 家族：妻
- 趣味：ゴルフ、音楽鑑賞



(第3回定例会代表質問続き)

12. 総合病院の混雑解消対策については、かかりつけ医をもつことにより、より詳しい健康管理が行われるメリットがあり、その地域の主治医の紹介により総合病院を受診できる仕組みを活用することで、混雑の緩和に役立つと思うが、区の考えは如何か。
(答) 患者中心の医療連携体制を構築し、今後需要の増す在宅医療を普及する上で、かかりつけ医の役割は重要性を増している。区は、医師会や病院などの関係機関と連携して、かかりつけ医機能の推進を図っております。このかかりつけ医制度が区民の皆さんに浸透することにより、総合病院の混雑解消につながっていくものと考えています。
13. 救急医療については、通報者、救急士や病院の連携がまだまだ不十分と思うが、区としての考えは如何か。
(答) 救急医療を真に必要な患者に迅速な医療を提供するためのルールづくりを行い、都民・医療機関・消防機関・行政機関の四者が協力・協働して救急医療を守る取り組みを進めていくことが必要であるとしております。この四者取り組みに協力し、不要不急の救急車の利用が、一刻を争うケースの救命の妨げになっていることに配慮し、区民に対して適正な救急車の利用について普及啓発してまいります。
14. 少子化といっても、子供を欲しくてもなかなか恵まれない方々がいることを忘れてはならない。その不妊治療助成については、特定不妊治療費の助成額の増加や対象者の拡大など考えていくべきだが如何か。
(答) 平成19年度には、百七十件の申請があり、多くの区民が待ち望んでいた助成だと分かりました。所得制限がない点や助成額については、全国的にも類を見ない水準にありますが、今後はさらに、区民のニーズを見極めつつ、検討してまいります。
15. コミニティバス路線拡大に向けた取り組みについては、多くの区民から要望が寄せられているが、その導入に向け、どのように取組まれていくのか。

(答) 今後は、区民の代表や国、区内のバス事業者などの関係者で構成する地域公共交通会議の場を活用しながら、路線検討や合意形成を効果的に進め、本年度内に実施計画を策定し、平成21年度中には新たな路線での実施運行が開始できるよう精力的に取り組んでまいります。
→5路線追加が決定!

16. 資源プラスチック回収の意義を、区民に理解してもらうことが、協力してもらううえで重要と思うが、区としての考えは如何か。
(答) プラスチックを資源回収し、地球環境への負荷を低減し、持続可能な社会を実現していくことは、先駆的で、有効な手段である。引き続き、職員が出向いて説明する出前説明会や戸別訪問などで、協力をお願いしてまいります。

17. 長寿医療制度における高齢者の不安や負担感の解消を図るためには、高齢者の心身の特性や心情に配慮した施策が必要と思うが、区としての考えは如何か。

(答) 相談体制を充実させていくとともに、高齢者の心身の特性を踏まえた、身近な医療機関等での無料健康相談の拡充や、経済負担にも配慮した専用の保養施設の設置などの施策を検討してまいります。



平成19年度決算特別委員会質問事項

【総務費】

1. 昨今の経済状況を考えると、今後の区の財政状況も潤沢な税収入が続いていくかは疑問である。そう言ったことを考えると、区有施設においても公共料金の使用料を減らすことや、その契約を見直すことにより料金の減額が図れるが、まず本庁舎の状況は如何か。
(答) 電気・水道については既に実施している。ガス料金については、ガス会社より情報収集の上、キメ細かな節減対策に取り組んでいきます。
2. 本庁舎以外の区有施設についても、指定管理者等の関係もあるが、積極的に契約をチェックしていくべきと思うが、如何か。
(答) 沢山の区有施設があるなかで、各施設ごとに契約をしている状態である。各施設の管理者とは、連携した情報収集に努めながら、一層適切な公共料金の契約・支出に努めていきます。

【民生費】

1. 盲導犬は育成についても大変費用がかかり、その数は足りない状況である。また現役で活躍中の盲導犬のケアがうまくいっていない状況である。人間の為に一生を捧げる盲導犬や補助犬について、獣医師会の先生と連携して、その体調についてケアしていくべきと思うが如何か。
(答) 区内ではまだ盲導犬は少ない状況だが、獣医師会との連携の提案につきましては、状況認識として受け止めますし、募金活動への協力依頼があれば相談に応じます。
2. 都内での福祉車両購入助成事業の実績については、どうなっているのか。
(答) 在宅の車いす利用者の外出を支援し、社会生活の利便と生活圏の拡大を図るため、品川区が平成11年から実施し、港区が二番目である。
3. 都助成実績と今後の見込みについては如何か。
(答) 平成20年4月から9月末まで、2件の助成実績があり、全体で5件を見込んでいる。

【衛生費】

1. 医師不足が叫ばれているなかで、三次救急の場合、港区では救急救命センターと救急病院との連携がどのようになされているのか。
(答) 近隣区まで含めた救急病院との連携・協力をさらに進め、一層適切に対応していく必要があると考える。区としましても、あらゆる機会をとらえて、救急医療の現状や今後導入される新たな取組みに対する区民の理解を促すほか、二次救急医療機関と三次救急医療機関の連携を含め、救急医療の確保・改善に努めてまいります。

【産業経済費】

1. 中小零細企業の現状は大変厳しいものと思うが、緊急融資制度も行われているが、現実として融資が実行されているのかが問題である。融資が実行されなかった場合を考えると、区として金利は高いが比較的審査が楽な新たな形態の銀行との提携も考えるべきではないのか。また、大田区が3年間の期限付き無利子融資を始めたが、港区はできないのか。
(答) 利息制限法の上限金利まで設定していたり、銀行独自の保証会社の保

証を必要としたり、必ずしも借受人に有利とは限らない状況で、現時点では困難である。無利子融資については、現在の港区の行っている本人負担率0.1%の低利融資や保証料負担など、既に充実したものとなっている。期間限定の無利子融資については、一つの選択肢として、検討してまいります。

2. 空き店舗対策として、インターネットのオークションで造作の売買が行われているが、こういったものを利用して空き店舗を減らせば、スケルトンにしなければ環境にも良いし、引き続き同じ従業員を使ってもらい雇用も確保できるのでは。
(答) 経営相談の相談機能をこれまで以上に強化し、事業を承継を目的とし、支援が行える体制づくりに取り組んでいきます。
3. 港区のインターネットサイト「みなとアラカルト」で、区内の5M(名所・名産・名店・名物・名品)を紹介するなど、効果あるサイトへして頂きたいが如何か。
(答) 区内の商店街・中小企業の活性化のために、さらに「みなとアラカルト」の内容を充実してまいります。

【土木費】

1. 総合設計制度は、建物は高く建つが公開空地などの地域貢献が感じられるが、天空率はただ高く建つだけで何も近隣に貢献がない。なぜ特定行政庁は天空率の適用除外区域の指定ができないのか。
(答) 法で規定されて範囲で計画されたもので、特別な許可などを受けて建築計画されているわけではなく、法に適用区域の指定に関する規定がなく、区が適用除外区域を定めることはできません。
2. 前面道路の電線地中化や歩道上空を整備するなど、地域に貢献させることを前提に天空率が適用されるべきであることを、強く申し添えます。港区役所の顔ともいえる芝公園の整備を、もっとすべきである。このままであるならば、早く都から区へ移管すべきであるが如何か。
(答) 芝公園の管理に向けては、早期に区民共有の財産となるよう、引き続き粘り強い交渉を続け、区役所前の改善も申し入れ致します。

編集後記

区政報告書の作成が間に合わず、あまり間隔を空けずに次号を発行することになりそうです。区役所での活動、所謂、定例会中の代表・一般質問や各常任委員会、予算・決算特別委員会での発言などの行動は、近隣においての日々の活動と違って、なかなか区民の皆さんに伝わらないことが多いわけでありまして。任期の四年間、如何に活動してきたかを、やはり議員として、自分できちんと区民の皆様にお伝えするのが当然の責務と思っております。そういう意味で、区政報告の間が空いたり、書面を作成しなかったりするのは、何も議会でやっていない、そう執られても仕様がなれないことと思います。まだまだ、勉強中の身ではございますが、必死に頑張っていることを、恐縮ながら、この紙面より区民の皆様にお伝えさせて頂く次第であります。

うかい雅彦の質問内容は港区議会ホームページでご覧になれます

<http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp>

代表質問及び決算特別委員会での質問の全文をご希望の方にお送り致します。FAX又はメールにてご連絡下さい。